

リンゴ病害虫の発生状況（8月）

（1）リンゴ斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図1）。

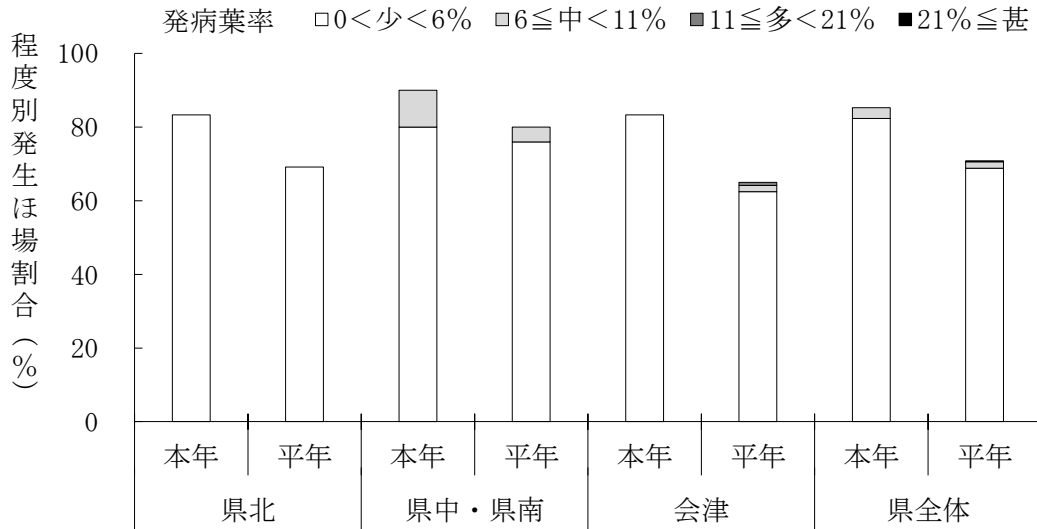


図1 リンゴ斑点落葉病の発生状況（8月中下旬）

（2）リンゴ褐斑病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図2）。8月中旬に降雨があったことから、今後本病の発生が急増するおそれがあります。本病の発生が多い場合は、晩生種に対し特別散布を行いましょう。

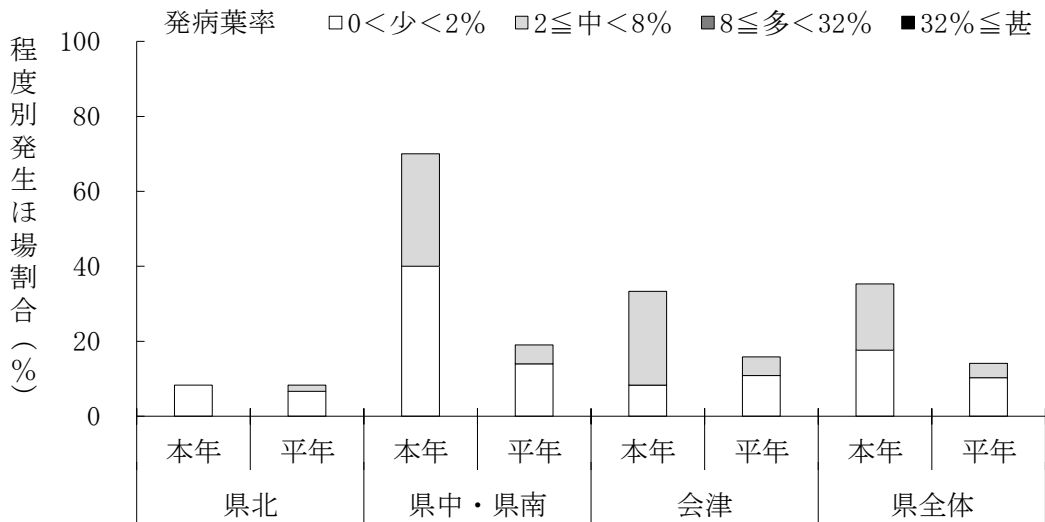


図2 リンゴ褐斑病の発生状況（8月中下旬）

（3）リンゴ炭疽病

果実被害は、確認されませんでした。

二次感染を防ぐため、発病果実は園外に持ち出し、適切に処分しましょう。

(4) キンモンホソガ

新梢葉での被害発生ほ場割合は、中通りで平年よりやや高い状況でした（図3）。

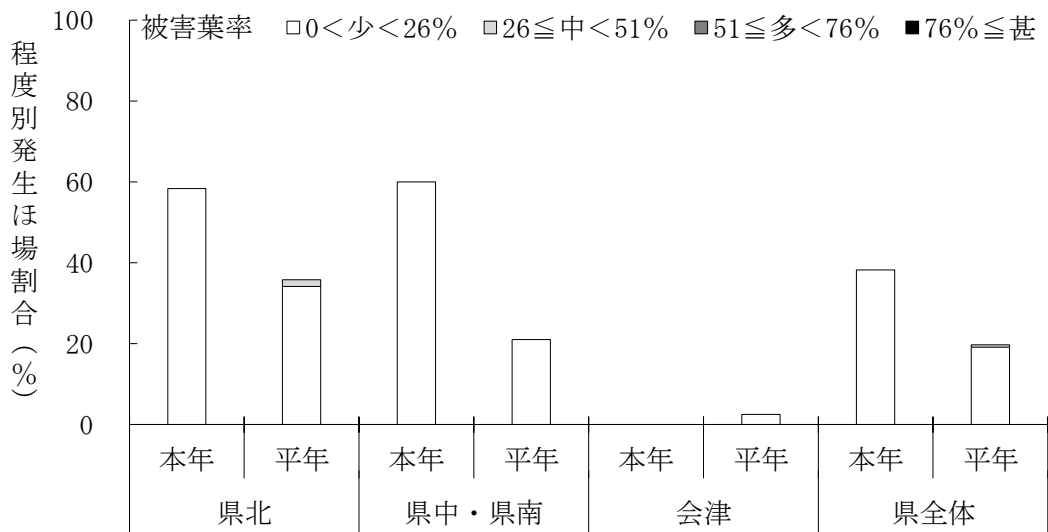


図3 キンモンホソガの発生状況 (8月中下旬)

(5) シンクイムシ類

果実での発生ほ場割合は、全域で平年並でした。

(6) ハマキムシ類

果実被害は確認されませんでした。

(7) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、平年よりやや高い状況でした（図4）。園地での発生状況をよく観察し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

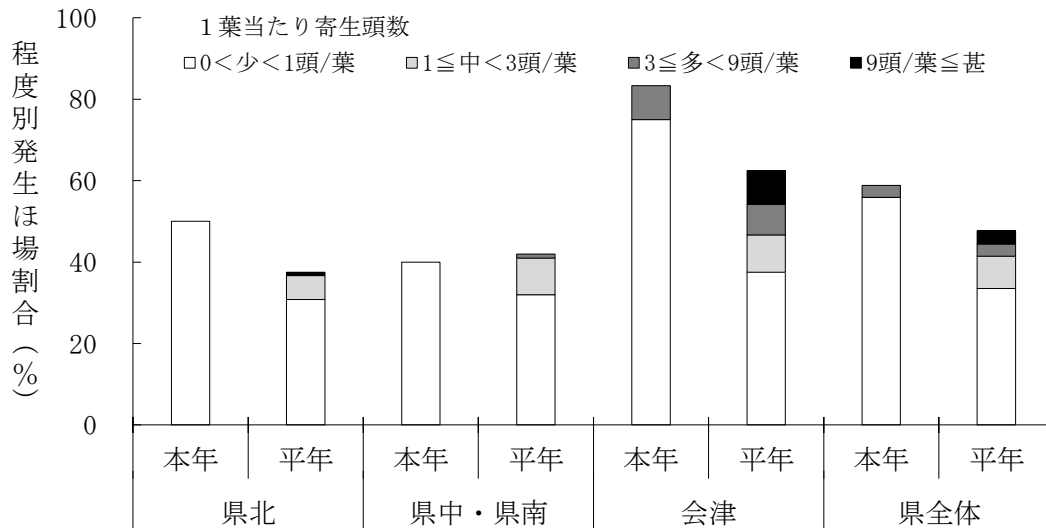


図4 ハダニ類の発生状況 (8月中下旬)

(8) カメムシ類

果実被害は、確認されませんでした。